

(2) 水道を広げる

水は、人々の生活には、なくてはならないものです。どこにでもありそうに見える水も、実は、わたしたちが飲めるようになるまでには、人々の協力やいろいろな工夫くふうが必要なのです。水道の水が、どのようにして送られてくるのか調べてみましょう。

① 玉川村の水道

水道使用水量お知らせ	
殿	
7. 8 - 月分	
当月の指針	94 m ³
前月の指針	55 m ³
使用水量	39 m ³
<small>○ 今月の使用水量は上記のとおり認定いたしました。 もし御不審のある場合は二日以内に御照会下さい。</small>	
検針日	日
玉川村水道課	
<small>○ 開栓閉栓の申請は、7日前に水道課に御連絡して下さい。</small>	
検針員	

◎メーター器の上に物を置かないで下さい。

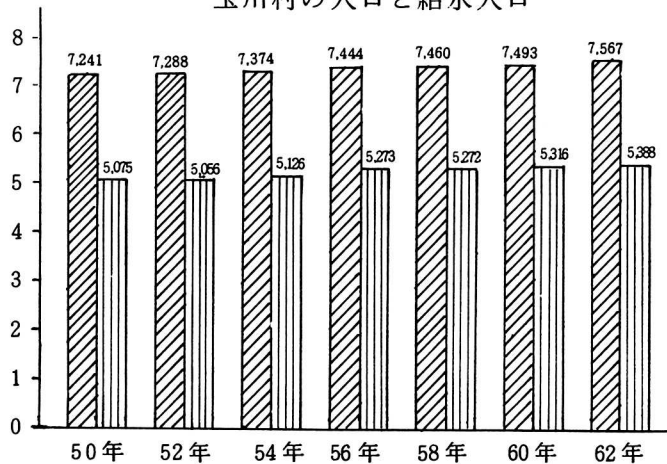
玉川村では、村の水道と家の井戸いど水の両方を使っている家もあります。また、村の水道がひかれていない所では、井戸水をポンプでくみあげて使用しています。

<村の水道が整う様子>

- 昭和43年 水道を作る運動が広まる。
- 昭和46年 石川町との間で、水を分けるそ
うだんがまとまる。
- 昭和47年 水道のけんせつが始まる
- 昭和49年6月1日 給水開始きょうすい

(1日最大1,280トン)

玉川村の人口と給水人口



村の人口がふえるのと同じく、水道を使う人の数もふえてきています。

玉川村の水道は、石川町きょうどうと共同の水を使っています。

(玉川村水道課調べ)

人口
 給水人口